

令和5年度 富山県教育委員会 重点施策

<基本方針1> 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

【目標】すべての子どもたちが、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、健やかに成長すること

方向性① 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

▶土曜日の豊かな教育活動推進事業 【1,217万円】
地域人材を活用した多彩な教育活動を推進するため、土曜日の学習活動を支援
(県立学校は「地域学校協働活動推進事業」で実施)
(生涯学習・文化財室、県立学校課)

▶中学校放課後学習支援推進事業 【858万円】
中学生希望者を対象に、大学生や教員OBなど地域住民の指導やICTの活用等による学習支援を実施

▶放課後子ども教室推進事業 【3,177万円】
地域の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供
(生涯学習・文化財室)

▶高等学校等就学支援金等 【180,047万円】
▶公立高等学校奨学のための給付金事業 【17,061万円】
▶奨学資金事業 【5,714万円】
(県立学校課)

▶青少年自然の家の運営 【7,005万円】
▶立山荘の運営 【786万円】
(生涯学習・文化財室)

方向性② 家庭の教育力の向上

▶とやま親学び推進事業 【336万円】
推進リーダー等を養成・配置し、乳児から中学生までの子どもを持つ親が親の役割や子どものかかわり方を学ぶ「親学び講座」を充実・推進
(生涯学習・文化財室)



▶家庭教育総合相談事業 【477万円】
子育て情報ホームページ「子育てネッ！とやま」による情報提供や電話相談やカウンセリング、電子メール等を活用した家庭教育に関する総合的な相談体制を整備
(生涯学習・文化財室)

方向性③ 児童等の安全の確保

▶学校安全教育推進事業 【42万円】
学校の安全管理及び安全教育の取組みを推進するため、学校安全アドバイザーを13校に派遣

▶子どもの登下校安全対策事業 【174万円】
登下校時等の子どもの安全を確保するため、市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置や学校安全パトロール隊の活動に要する経費等を支援
(保健体育課)

<基本方針2> 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

【目標】子どもたちが、基本的な知識・技能とともに探究力や問題発見・解決能力を身につけ、グローバル化やAIやIoTなどの技術革新などが急速に進展する社会の中で、多様な価値観を持つ人々と連携、協働しながら、自らの可能性を發揮し未来を切り拓いていく力を育むこと

方向性① 確かな学力の育成

▶とやま型学力向上総合支援事業 【1,018万円】
全国学力・学習状況調査等の結果分析、学校改善、授業改善に有効に活用するための体制の充実を図るほか、市町村教育委員会の取組みを総合的に支援

▶令和のとやま型教育推進事業 【855万円】
個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、市町村教育委員会と連携し問題発見・解決能力等資質・能力の育成に向けた実践研究を推進

▶幼児教育の質の向上推進事業 【593万円】
全ての幼稚園・保育園・認定こども園を対象に幼児教育アドバイザー等を活用した研修支援等を充実し、幼児教育の質の向上を図るとともに、幼小の教育の円滑な接続を図る
(小中学校課)

▶とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業
▶高校オーブンイノベーション支援事業
(基本方針4に事業概要) (県立学校課)

▶とやま科学オリンピックの開催 【851万円】
▶親子でチャレンジ小学生体験教室の開催 【91万円】
(教育企画課)

▶スーパーサイエンスハイスクール事業(国委託) 【122万円】
富山中部高校において、探究力や科学的思考力等を身につけた科学技術系人材育成のため、高大連携による課題研究、英語による研究発表指導等を実施
(県立学校課)

方向性② ICTを活用した教育の推進

▶教育環境のデジタル化推進事業 【207万円】
教育環境のデジタル化を統括する「教育CIO・CDO」やその補佐役等で構成する「富山県教育DX推進会議」を運営し、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育を総合的・計画的に推進

▶GIGAスクール運営支援センター整備事業 【3,893万円】
市町村が参加するGIGAスクール推進協議会を新設するとともに、県立学校のGIGAスクール運営支援センターの機能を強化し、学校現場の支援のため、情報通信技術支援員を派遣
(教育企画課)

▶ICT教育推進事業 【1,728万円】
効果的で質の高い授業を展開するためのデジタルコンテンツ等を配備するとともに、教員のICT活用指導力の向上を図る
(教育企画課・県立学校課)



▶GIGAスクール構想推進事業 【337万円】
1人1端末等を活用した、より効果的な授業実践を進めるため、市町村立学校教員を対象とした体験研修等を実施
(小中学校課)

<基本方針2> 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

方向性③ 社会で生きる実践的な力の育成

▶富山型キャリア教育充実事業 【1,290万円】
地域を支え富山で活躍できる人材を育成するためアカデミックインターンシップや職業教育プログラム推進事業などを含めた「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」を推進。
(県立学校課)

▶社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (基本方針3に事業概要) (小中学校課)

▶高校生とやま県議会事業 【88万円】
高校生の代表が富山県のよりよい未来を創るための意見交換や議会体験等を通して、政治参加意識や社会参画意識を高める

▶富山県青年議会事業 【40万円】
市町村や青年団体等から推薦された青年議員がよりよい県政の方向性等について県当局に提案
(生涯学習・文化財室)

▶とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 【104万円】
冊子の活用や赤ちゃんふれあい体験を通し、ふるさと教育を含めたライフプラン教育を体系的に推進
(小中学校課)

▶とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 【200万円】
自己の在り方・生き方を考える副教材の活用や赤ちゃんふれあい体験等を支援
(県立学校課)

▶とやまの高校生マイスター育成事業 【350万円】
ものづくり人材や6次産業人材など、富山の地域を支える人材を育成するとともに、DXに対応した職業人材の育成を図る
(県立学校課)

方向性④ グローバル社会で活躍できる人材の育成

▶とやまグローバル人材育成促進事業 【64万円】
市町村立学校の教員を対象にした研修会を充実させるとともに、英語教育の研究推進を支援し、英語指導力の向上を図る
(小中学校課)

▶英語グローバル教育充実事業(一部国委託) 【189万円】
国際バカロレアに係る調査研究を行うほか、各校で設定した学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る
(県立学校課)

▶とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 【1,738万円】
グローバル人材を育成するため、県立高等学校9校を指定し、海外大学等での研修等の充実を図る

▶高等学校生徒海外派遣事業 【2,380万円】
高校生等を海外に派遣し、ふるさと富山への理解や魅力発信などについて事前研修を行うとともに、生徒間交流などによる異文化への理解を通じ、未来の郷土を支え、社会の発展に貢献するグローバル人材の育成を図る

▶とやまの高校生留学促進事業 【515万円】
高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学を促進
(県立学校課)

▶小学校専科教員配置事業 【4,182万円】
(教職員課)

▶外国語指導助手(ALT)の配置 【17,933万円】
(県立学校課)

<基本方針2> 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

方向性⑤ 教員の資質向上、働き方改革の推進

▶学習支援等大学生派遣事業 【564万円】
富山大学・富山国際大学・金沢大学の教員志望大学生を指導補助者等として小・中・義務教育学校に派遣し、教育指導体制の充実を図る
(小中学校課)

▶教師の学び支援塾事業 【150万円】
教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、学校教育における指導上のノウハウを研修等を通じて若手教員に伝承
(県立学校課)

▶授業力向上対策事業 【120万円】
小・中・義務教育学校教員の授業力向上のための研究活動を支援
(小中学校課)

▶「富山で先生になろう」応援事業 【1,200万円】
意欲ある優秀な教員を安定的に確保するため、教員UIターンセミナーや教員養成講座を実施するほか、新たに教員の魅力発信等を実施
(教職員課)

▶教員を目指す学生の野外活動実習・異学年子ども体験活動事業 【160万円】
教員の仕事の魅力を理解してもらうため、県立青少年教育施設において高校生や大学生が企画運営に携わる小学生対象の異学年交流合宿を実施
(生涯学習・文化財室)

▶スクール・サポート・スタッフ配置事業 【25,454万円】
教員の学内業務の負担を軽減し、子供と向き合う時間を確保するため、配置を希望する市町村立学校及び特別支援学校(小・中学部)にスクール・サポート・スタッフを配置

▶高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業 【15,554万円】
県立学校にスクール・サポート・スタッフを配置し、障害者雇用を促進するとともに、教職員の学内業務の負担の軽減を図る
(教職員課)

▶部活動指導員配置促進事業 【4,752万円】
教員の負担軽減と技術的な指導を行うため、公立中学校、県立高等学校に部活動指導員を配置
(保健体育課、教職員課)

▶入学者選抜手続き等デジタル化事業 【6,000万円】
県立高等学校入学者選抜等について、インターネットを介しての手続等を可能とするWeb出願システムを導入
(教育企画課、県立学校課)

▶外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実 【1,079万円】
外国人児童生徒の多い学校へ日本語指導担当教員や外国人相談員を配置
(教職員課)

▶外国人児童生徒教育推進事業 【240万円】
外国人児童生徒教育コーディネーターの配置、モデル校での実践研究、関連機関と連携した運営協議会の開催等、学校での指導体制の構築、外国人教育の充実を図る
(小中学校課)

<基本方針3> 子どもの健やかな成長を支え、元気を創造する教育の推進

【目標】すべての子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましくいきるための健やかな身体を育むとともに、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育むこと

方向性① 豊かな心と健やかな体の育成

拡▶社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 【1,490万円】
規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身につけるという理念に基づき、中学2年生が取り組む職場体験活動や福祉・ボランティア活動の充実を図る (小中学校課)

▶スクールカウンセラー配置事業 【18,422万円】
▶スクールソーシャルワーカー活用事業 【2,630万円】
▶スクールロイヤー活用事業 【144万円】 (小中学校課)

新▶教育相談体制充実事業 【660万円】
不登校、いじめ等様々な課題を抱える児童生徒やその保護者への早期支援、教職員に対するコンサルテーション機能の充実のため、スクールカウンセラーのスーパーバイザーを配置 (小中学校課)

▶いじめ総合対策支援事業 【1,540万円】
いじめ問題対策連絡会議等を活用し、県いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止対策を推進するほか、総合教育センターに24時間対応のいじめ相談電話を設置
▶不登校児童生徒に対する支援推進事業 【272万円】
不登校やひきこもり等児童生徒の諸問題に対応するため、訪問指導員を総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室等を支援するとともに、フリースクール等との連携を推進 (小中学校課)

方向性② 少人数教育と校種間連携の推進

拡▶少人数教育推進事業 【31,760万円】
国の計画に2年先行した小学校6年生までの35人学級を実施するとともに、少人数指導と組み合わせた効果的な少人数教育推進のため、教員の増員とともに非常勤講師を配置
▶小学校専科教員配置事業 【4,182万円】 (教職員課)

▶学びの体験オープンハイスクール事業 【47万円】
▶高大連携未来を拓く人材育成事業 【170万円】 (県立学校課)

方向性③ 特別支援教育の充実

新▶SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 【203万円】
インクルーシブ教育システムについて普及啓発、指導助言にあたる推進員を配置
▶特別支援学校医療的ケア体制整備事業 【6,193万円】
特別支援学校への看護職員配置、医療的ケア安全委員会への参加や看護職員への助言等を行うことのできる医療的ケア指導チームを配置 (県立学校課)

方向性④ 人権や思いやりの心を大切にする教育の推進

▶人権教育総合推進事業 【190万円】 (生涯学習・文化財室)
▶いのちの教育総合支援事業 (国委託) 【129万円】 (小中学校課)

<基本方針4> 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

【目標】様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、子どもや若者が未来に希望を持って、魅力ある教育を受けられること

方向性① 県立学校の教育環境の整備・充実

拡▶とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 【2,070万円】
他者と協働しながら新しい時代を創造する力を育成するため、課題解決型教育やSTEAM教育によるプロジェクト学習 (PBL) を支援



新▶高校オープンイノベーション支援事業 【1,460万円】
教科等横断的な学習や地域課題等をテーマとした探究活動を行うために地域・大学・企業等との連携を促進するコーディネーターの配置とともに、動画による情報発信等を実施 (県立学校課)

新▶県立高校特別教室の空調新設事業 【38,150万円】
新▶県立高校普通教室等LED化工事 【22,000万円】 (教育企画課)

方向性② 私立学校教育の振興

▶私立学校経常費補助金 (一般分) 【215,812万円】
私立学校 (幼稚園、小学校、中学校、高等学校) における教育研究に必要な経常的経費を支援
▶高等学校等就学支援金等 【125,052万円】
拡▶私立高等学校生徒奨学補助金 【17,696万円】
就学支援金の支給に加え、授業料、入学時納付金の減免を行う学校法人を支援 (経営管理部所管事業)

方向性③ 大学教育・学術研究の振興

▶大学コンソーシアム富山事業費等補助金 【787万円】
単位互換、職場訪問など、県内高等教育機関が連携して行う教育・学生支援や地域貢献の取組みを支援
拡▶県立大学の学科拡充等に伴うプロジェクト事業への支援 【74,868万円】
▶ポータル起業・ビジネス研修実施事業 【1,976万円】
▶県内大学生等留学支援事業 【520万円】 (経営管理部所管事業)

<基本方針5> 生涯を通じた学びの推進

【目標】すべての世代の県民が、それぞれの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じて、学習の機会や場を選択して学び、その成果を地域で還元し、活躍の場が提供されていること

方向性① 多様な学習活動の支援

▶県民カレッジ本部の運営 【2,046万円】
▶県民カレッジ地区センターの運営 【3,313万円】
新▶ウェルビーイング実現講座 【280万円】
ウェルビーイングを学ぶ「地区センター講座」とともに県外から著名人を招き、講演会を開催する「本部講座」を実施 (生涯学習・文化財室)

新▶公民館deつながるモデル事業 【200万円】
地域住民の交流の拠点である公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業にデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援 (生涯学習・文化財室)

方向性② 県民の学習を支える基盤整備

▶「とやま学遊ネット」の運用 【629万円】
生涯学習情報のリアルタイムでの提供やとやま公民館学遊ネットによる公民館からの地域情報発信を支援
新▶県立図書館機能向上検討・整備事業 【2,415万円】 (生涯学習・文化財室)

方向性③ キャリアを磨く実践的な学びの推進

▶県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 【480万円】
社会人の学び直し、講座型セミナー等企業等のニーズに即したカスタムメイド型のセミナーを機動的に実施 (経営管理部所管事業)

<基本方針7> 次世代を担う子どもの文化活動の推進

【目標】次世代を担う子どもたち一人ひとりが、幅広く芸術文化に親しみ、身近な活動に参加することで、子どもたちが豊かな感性と表現力をもった社会人となるよう育まれていること

方向性① 子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進

▶次世代育成音楽ふれあい事業 【2,200万円】
学校コンサート、親子で楽しむコンサートなど身近な場所で質の高い音楽鑑賞の機会を創出
新▶とやまアーティストマッチング事業 【950万円】
保育園や幼稚園、学校での公演、指導などに県内芸術家等を派遣 (生活環境文化部所管事業)

方向性② 学校における文化活動の充実

▶高校生のアイデアを集結「アートのちから」事業 【140万円】
高校生が著名文化人による指導を受け、芸術によるまちづくり等を学び、自らの企画立案によるアートイベントを開催
▶文化部活動の地域移行に向けた支援事業 【353万円】
▶中学校文化連盟への支援 【180万円】
▶高等学校文化連盟への支援 【1,243万円】
▶全国大会出場に対する支援 【170万円】 (生涯学習・文化財室)

方向性③ 文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興

▶富山県美術館企画展の開催 【16,614万円】
▶富山県美術館の教育普及活動 【1,841万円】 (生活環境文化部所管事業)

<基本方針6> ふるさとを学び楽しむ環境づくり

【目標】子どもや県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育むこと

方向性① 学校におけるふるさと学習の推進

▶高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 【54万円】
ふるさと富山について理解を深める契機とするため、デジタル化補助教材を活用 (県立学校課)

方向性② 家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興

▶「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 【79万円】
中高生を対象にふるさと文学を通して心に浮かぶ情景や心情を文芸や美術、写真で表現する作品を募集
新▶郷土資料デジタル化整備事業 【200万円】
県立図書館で所蔵する古書や絵図などの郷土資料をデジタル化し、ホームページ上で公開することにより県民の利活用を促進 (生涯学習・文化財室)

方向性③ 高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興

▶高校生のための令和万葉教室 【35万円】
▶高志の国文学館企画展開催事業 【79万円】 (生活環境文化部所管事業)

方向性④ 伝統文化の保存・継承

▶国・県指定文化財の保存修理事業への支援 【4,900万円】
▶文化財建造物等活用推進事業 【1,429万円】
新▶国宝指定記念勝興寺魅力発信事業 【800万円】 (生涯学習・文化財室)

<基本方針8> スポーツに親しむ環境づくりの推進

【目標】県民の誰もが、それぞれの興味、関心、適性等に応じて、スポーツを「する、見る、支える」活動に参画し、主体的にスポーツを楽しんでいること

方向性① 県民がスポーツに親しむ環境づくり

▶富山マラソンの開催 【8,962万円】
▶県民スポーツ機会創出事業 【577万円】 (生活環境文化部所管事業)

方向性② 学校等における体育・スポーツの充実

新▶とやまっ子ワクワク運動体験応援事業 【575万円】
アプリを活用し、児童生徒の運動継続と健康的な生活習慣を支援
▶地域部活動実証事業 【3,260万円】 (保健体育課)

方向性③ 全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

▶未来のアスリート発掘事業 【600万円】
▶IoTを活用したスポーツ競技力向上支援事業 【600万円】 (生活環境文化部所管事業)

方向性④ スポーツを支える人材の育成と活用

▶人材バンクの構築 【300万円】
「パスネットとやま」で、現場のニーズと指導者のマッチングを支援 (保健体育課・生活環境文化部所管事業)

方向性⑤ プロスポーツや企業と連携した地域の活性化

新▶プロスポーツチームによるキャリア教育推進事業 【350万円】
拡▶プロスポーツチーム地域貢献活性化事業 【750万円】 (生活環境文化部所管事業)